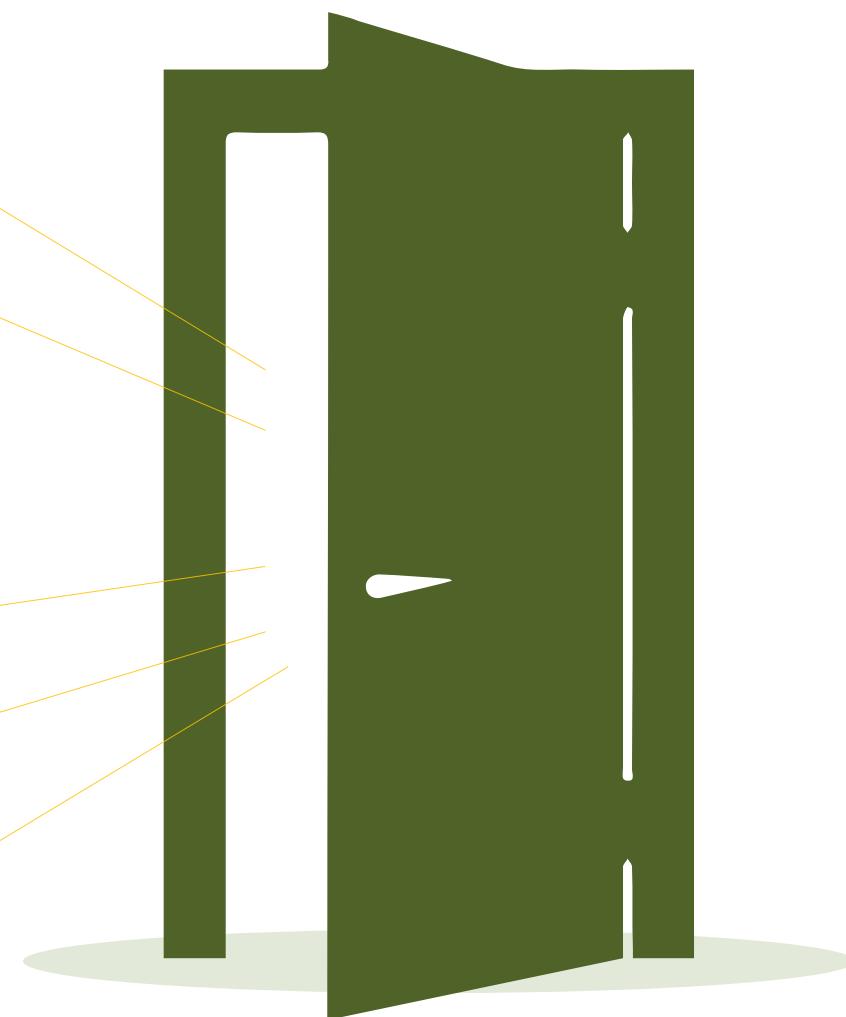


鳥羽市新型コロナウイルス感染症対策 “安全・安心 とばの創造” 命と経済を支える補正事業



守りたいこの笑顔 つくろう2週間後の未来



“Let's make New TOBA”

1 “命”を支える

感染予防対策応援事業
虐待等防止ネットワーク事業
生活困窮者自立支援事業
母子寡婦福祉事業
ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業
他2事業

2 “経済”を支える

観光誘客促進事業～GO TO 待てない！キャンペーン～

Agenda

1 “命”を支える

感染予防対策応援事業

担当：健康福祉課健康係 予算額：2,873.1万円

虐待等防止ネットワーク事業

担当：健康福祉課子育て支援室 予算額：9万円

生活困窮者自立支援事業

担当：健康福祉課生活支援係 予算額：330.8万円

母子寡婦福祉事業

担当：健康福祉課子育て支援室 予算額：20.3万円

ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業

担当：健康福祉課子育て支援室 予算額：1,872.8万円

小学校管理事業

担当：教育委員会総務課 予算額：120万円

航路付属経費

担当：定期船課 予算額：13.4万円

補正総額 7,060万円

2 “経済”を支える

観光誘客促進事業～GO TO 待てない！キャンペーン～

担当：観光課観光企画係 予算額：1,820.6万円

目指す姿

“安全・安心 とば”

感染症に対して不安を感じることなく、市民は新しい日常を、観光客は余暇を楽しむことができる



創造のために必要な施策

市全体として万全の感染予防を実施し、
市内外にアピールすることでイメージを定着
“観光”がもたらす市内経済への波及効果を
最大限引き出すため、観光産業の早期回復に取り組む

今回の
補正事業

- ・各団体・施設などが自主的に行っている感染予防の広報
- ・市全体の感染予防対策の促進
- ・効果的な観光誘客と市内の周遊促進

補正事業のPOINT

命と経済の2つの柱を両立させる

7/1~8事業スタート

1

“命”を支える

鳥羽市全体で感染予防に取り組み、市民の命を守り、不安を払拭

情報発信

2

“経済”を支える

影響を受けている鳥羽市の屋台骨である観光産業を回復させる

感染予防対策応援事業

感染症予防対策の啓発・広報活動
感染症予防対策応援金
⇒感染予防対策をした事業所に応援金を交付

命と経済の両立で“安全・安心 とばの創造”を市内外にアピール

感染予防対策チラシ・感染予防ガイドラインの作成
ロゴ（ステッカー）の作成、SNS・YouTube等での発信、広報とば掲載

GO TO 待てない！キャンペーン

県民対象宿泊優待CP（7/8）
⇒三重県民限定で1人あたり最大5,000円相当クーポンを発行
市内周遊事業
⇒観光施設などを周遊する仕組みを造成

プレミアム付商品券利用開始
（前回補正事業）

新しい生活様式に
対応した観光地の実現

感染予防対策応援事業



概要

市民・観光客双方の、新型コロナウイルス感染症に対する不安解消を図り、感染予防と地域経済の回復の両立を実現する目的で、感染対策を実施している事業所に対し、「感染予防対策実施ステッカー」と感染対策ガイドラインを配布するとともに応援金を交付します。

担当

健康福祉課健康係 25-1185

予算額 2,873.1万円

内容

①感染予防の啓発・広報活動

官民の枠を超えて市全体で感染予防を実施するため、感染予防に関するチラシ・ガイドラインを活用し、市内事業者等への啓発・広報活動を行います。また対策を行った事業者に対して「感染予防対策実施ステッカー」を配布し、感染予防対策を実施した店舗等を可視化します。

②新型コロナウイルス感染症予防対策応援金

消毒液の設置や従業員のマスク・フェイスシールドの着用、店舗内の仕切り設置など、感染予防対策を行っている事業所に対し、感染予防にかかる費用について2万円～7万円の応援金を交付します。

感染予防対策応援事業



【新型コロナウイルス感染症予防対策応援金の概要】

対象者 感染予防対策を行っている市内の事業者

対象費用 消毒液の設置、事業所内の定期的な消毒、従業員のマスクやフェイスシールドの着用、店舗内の感染予防のための仕切りなど、新型コロナウイルス感染症の予防対策に要する費用

下記の表のとおり交付額を算出します。

交付額

基本額				1万円
加算1	従業員数により	1～49人	①	1万円
		50～99人	②	2万円
		100人以上	③	3万円
加算2	宿泊施設対象 収容人数により	1～99人	④	1万円
		100～499人	⑤	2万円
		500人以上	⑥	3万円
	大型集客施設 年間集客人数により	年間10万人以上	⑦	3万円

【例1】
宿泊施設で従業員56人・収容人数70人の場合

$$\begin{matrix} \text{基本額} \\ 1万円 \end{matrix} + \begin{matrix} \text{加算1-②} \\ 2万円 \end{matrix} + \begin{matrix} \text{加算2-④} \\ 1万円 \end{matrix} = \begin{matrix} \text{交付額} \\ 4万円 \end{matrix}$$

【例2】
年間20万人を集客する大型集客施設で
従業員が108人の場合

$$\begin{matrix} \text{基本額} \\ 1万円 \end{matrix} + \begin{matrix} \text{加算1-③} \\ 3万円 \end{matrix} + \begin{matrix} \text{加算2-⑦} \\ 3万円 \end{matrix} = \begin{matrix} \text{交付額} \\ 7万円 \end{matrix}$$

申請方法 原則郵送 / 申請書類は市HPもしくはは窓口を設置

申請期間 7月1日～11月30日

必要書類 ①申請書 ②感染対策をした証明(写真など) ③振込先のわかる通帳などのコピー

申請書送付先 〒517-0022 鳥羽市大明東町2番5号 保健福祉センターひだまり2階 鳥羽市健康福祉課健康係 6

【虐待等防止ネットワーク事業】

概要

虐待防止等の相談を強化するため、オンライン会議による関係機関との連携を図るためのWi-fi設備やタブレット端末などの備品を購入します。

担当

健康福祉課子育て支援室 25-1184

予算額

9万円

【生活困窮者自立支援事業】

概要

新型コロナウイルス感染症の影響で増加している生活困窮者への自立相談支援体制を強化する目的で相談支援員を新規で雇用します。

担当

健康福祉課生活支援係 25-1181

予算額

330.8万円

【母子寡婦福祉事業】

概要

学習支援ボランティア事業に対する新型コロナウイルス感染症拡大阻止のための消毒液やマスクなどを購入します。

担当

健康福祉課子育て支援室 25-1184

予算額

20.3万円

ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業



概要

新型コロナウイルス感染症の影響を受けているひとり親世帯の生活を支援する取り組みとして、1世帯5万円(第2子以降1人につき3万円)の給付を行います。
また家計が急変した方にはさらに1世帯5万円の追加給付をします。

担当

健康福祉課子育て支援室 25-1184

予算額

1,872.8万円

【基本給付】

対象

下記いずれかに該当する方

- ①令和2年6月分の児童扶養手当が支給される方
- ②公的年金等を受給しており令和2年6月分の児童扶養手当の支給額が全額停止される方
- ③家計が急変するなど収入が児童扶養手当を受給している方と同じ水準になっている方

給付額

1世帯5万円(第2子以降1人につき3万円)

【追加給付】

対象

基本給付の対象者の①または②に該当する方のうち、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、収入が減少している方

給付額

1世帯5万円

【申請方法】

①の方:基本給付については申請の必要はありません ②③の方:基本給付・追加給付ともに申請の必要があります

ひとり親世帯



STEP1 健康福祉課子育て支援室の窓口へ直接か郵送でご提出ください

STEP2 申請書をチェックし、振り込みを行います

鳥羽市

観光誘客促進事業 ～GO TO 待てない!キャンペーン～



概要

経済波及効果の高い観光産業の回復を図る目的で、国や県の動きに先行または連動する鳥羽市独自の宿泊キャンペーンなどを実施し、新型コロナウイルス感染症で大きな影響を受けている宿泊及び観光施設等を支援し、市内経済全体の好循環を創出します。

担当

観光課観光企画係 25-1155

予算額 1,820.6万円

内容

事業を円滑かつ効果的に実施するため下記を鳥羽市観光協会に委託予定

①三重県民宿泊優待 7月8日スタート予定

鳥羽市独自の誘客キャンペーンとして1人あたり最大5,000円割引となる宿泊クーポン(3000人対象)をインターネット予約サイトを中心として発行

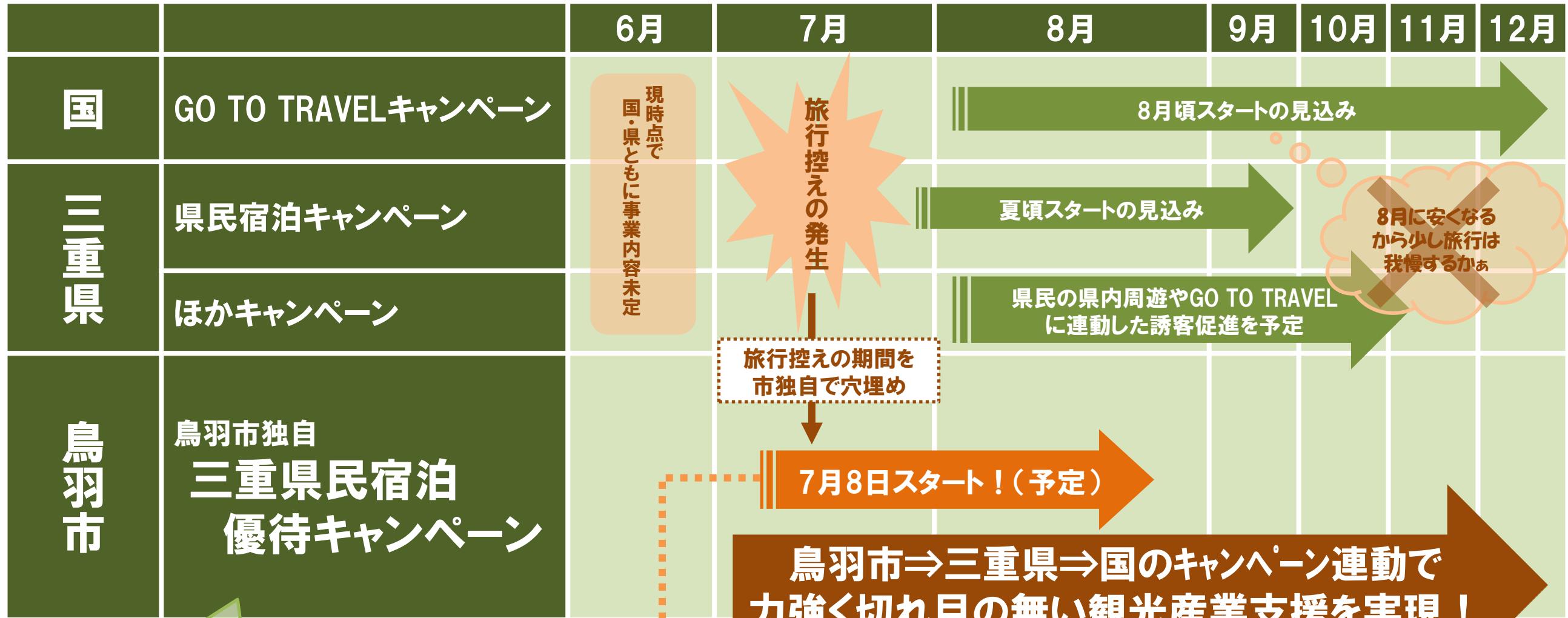
②市内周遊促進 7月上旬スタート予定

鳥羽へ訪れた観光客が観光施設をはじめとした地域への周遊及び消費促進につながるきっかけとなる話題性と集客のインパクトとなるキャンペーンを実施

観光誘客促進事業 ～GO TO 待てない!キャンペーン～



【三重県民宿泊優待のスケジュール・概要】



- 他地域でも独自のキャンペーンが行われていることから、乗り遅れない事業展開が必要
- 宿泊増加をきっかけに飲食店・土産物店、観光施設などへの経済波及効果を狙う

- 7月1日スタートの下記事業とも連動!
- 感染予防対策応援事業
 - 安全・安心とばの創造で市民観光客に安心感をもってきていただく
 - プレミアム付商品券事業
 - 飲食店支援のためのお得なCOME ON★とば券の利用スタートで活性化

小学校管理事業

安楽島小学校夏季スクールバス運行業務



概要

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学校休校措置により夏休み期間が短縮となり、暑さの厳しい夏季に「徒歩で長距離通学」をする児童への熱中症予防策等として、スクールバスの追加運行を実施します。

担当

教育委員会総務課 25-1262

予算額

120万円

対象

安楽島小学校へ約1km以上の距離を徒歩で通学している児童
※他の学校については、電車・バス・船等の公共交通機関やスクールバスを利用した平常通りの登下校を行う

実施方法

- ・夏季期間(2ヶ月間)にマイクロバスをレンタルし運転業務を委託
- ・経路や学年による下校時刻の違いについては、既存のスクールバスを活用しながら効率的な運行を実施

航路付属経費



概要

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、非接触型体温計のほかマウスシールドを購入し、市営定期船の乗船にかかる従業員などに配備することで、離島住民唯一の公共交通である定期船の安全確保を行います。

担当

定期船課 25-4776

予算額

13.4万円